

過疎地域持続的発展計画 (令和3年度～令和7年度)

令和4年度事業評価

- 〔A〕・・・計画以上に進んでいる
- 〔B〕・・・計画どおりに進んでいる
- 〔C〕・・・計画より遅れている、未着手、未実施など

令和4年度過疎計画事業実施状況

 ←R3の評価や実績に斜線が入っている事業については、令和3年度時点の過疎計画に記載がなかったため、令和3年度評価を行っていない。

2. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		R4評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
1. 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	(4) 過疎地域持続的発展特別事業 移住・定住	若者夫婦・子育て世代住宅支援事業 若者夫婦・子育て世代世帯の住宅取得費の補助を行う。	A	A	実績：4件(事業費：2,400千円) ※全町申請件数：48件	実績：泊4件、東郷8件(事業費：6,293千円) ※全町申請件数：57件	若者・子育て世代の住宅取得日の補助を行い、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		移住定住住宅支援事業 県外からの移住者が、住宅を新築・購入・改修するための費用を補助	B	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：2件(事業費：1,500千円)	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件(事業費：0千円)	移住希望者は始めは賃貸物件で暮らす希望の人が多く制度利用が少ない傾向がある。新制度を設けて移住受入を進める計画である。
		移住定住者家賃助成事業 県外からの移住者が、町内の賃貸住宅に入居する場合、家賃の一部を補助	B	B	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：2件(事業費：260千円)	実績：2件(事業費：140千円) ※全町申請件数：5件(事業費：369千円)	県外からの移住者が町内の賃貸住宅に入居する場合に家賃の一部を補助を行い、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		移住者運転免許取得支援補助金 県外からの移住者が、自動車免許を取得した場合、取得費用の一部を補助	B	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件(事業費：150千円)	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件(事業費：0千円)	移住定住施策として補助を行ったが、申請が無かった。引き続き移住相談会、町ホームページなどを活用し、制度周知に努める。
		移住者運転安心支援事業 県外からの移住者が、ペーパードライバー講習を受講する場合、講習費用の一部を補助	B	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件(事業費：150千円)	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件(事業費：7千円)	移住定住施策として補助を行ったが、東郷・泊地区では申請が無かった。引き続き制度周知に努める。
		移住定住中古住宅修繕支援補助金 県外からの移住者が中古住宅の修繕をする場合、修繕に要する費用を補助	B	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件(事業費：250千円)	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件(事業費：0千円)	移住定住施策として補助を行ったが、申請が無かった。引き続き移住相談会、町ホームページなどを活用し、制度周知に努める。
		三世代同居世帯等住宅整備費助成 新たに三世代同居を目的として、住宅の新築、購入、増改築及びリフォームに要する費用を補助	B	A	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：2件(事業費：1,000千円)	実績：5件(事業費：1,964千円) ※全町申請件数：6件(事業費：2,464千円)	新たに三世代で同居する家庭の住宅取得の補助を行い、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		住宅等仲介手数料補助金 住宅の購入や住宅用地の取得に要した仲介手数料の一部を補助	B	A	実績：1件(事業費：51千円) ※全町申請件数：14件(事業費：1,377千円)	実績：7件(事業費：691千円) ※全町申請件数：12件(事業費：1,211千円)	全町申請件数の約半数が東郷・泊地区への申請であり、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		移住支援金 東京23区に在住または勤務する人が、町内に移住し、県が指定する中小企業の求人に就業又は企業支援金を受けた人に支援金を交付	B	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件(事業費：0千円)	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件(事業費：0千円)	転入市町村に5年以上定住、指定企業に5年以上継続勤務の意思があることなど対象要件が厳しい面があるが、引き続き移住定住施策として制度活用を推進する。
		住宅団地造成等支援補助金 事業者が住宅団地造成や賃貸住宅整備に要する費用を補助	C	C	実績 0件	実績 0件	先進地事例の研究や不動産業者との意見交換などをふまえ検討する。
		結婚新生活支援事業 新婚世帯の住宅取得費の補助	C	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件	結婚して間もない世帯が補助対象年度の2月中旬までに住宅新築・取得を行うことや所得制限など対象要件が厳しい面があるが、引き続き移住定住施策として制度活用を推進する。
		婚活支援事業 「縁結び支縁員」の活動支援、また中部地区市町と連携した婚活イベント等の開催 縁結び支援員の活動支援を行なうとともに、婚活イベントを開催	B	B	実績：成立件数0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件 婚活イベント実施回数：7事業8回(湯梨浜町から13人が参加) 成立件数：当初予算見込1件に対し実績0件。	実績：成立件数0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件 婚活イベント実施回数：8事業8回(湯梨浜町から13人が参加) 成立件数：当初予算見込1件に対し実績0件。	新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、オンライン開催等、感染拡大時でも開催できる体制を整え、独身男女に対し結婚につながる出会いの場を提供することができた。
縁結び推進事業 鳥取県が運営する会員制マッチングシステム「えんトリー」の入会登録料を助成		B		実績：1件 ※全町申請件数：2件(事業費：10千円)	申込件数1件に対し補助。えんトリー入会時に間接補助できないか検討する。		

	お試し住宅運営 移住希望者に暮らし体験を提供する		C		実績：9件20人（まつざき屋5件11人、もりた屋4件9人）	都市部でのセミナー等でPRを実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う利用制限により、利用件数が伸びなかった。	
	移住相談窓口 コーディネーターを設置し、個に応じて柔軟に相談対応する		B		実績：相談63組（実際に移住した実績：3組4人）	都市部での移住相談会に参加したり、独自でオンライン相談会を実施したりするなど、積極的に希望者にPRすることができた。	
人材育成	集落づくり総合交付金					住民間の交流や助け合いを推進し、地域共生社会の実現を進めるため、地域づくりや防犯環境の整備を支援した。新型コロナウイルスの影響により、活動を中止する事業もあった。今後も活動の支援を推進する。	
	自主防災組織運営交付金 各区の自主防災組織の活動等について補助を行なう。	B	B	実績：9区 事業費（交付額）：405,000円	実績：44区 交付額：1,880,500円 【内訳】 東郷：34区 交付額：1,431,500円 泊：10区 交付額：449,000円	自主防災組織の訓練等運営を支援し、集落づくり・自主防災力の向上等を推進した。	
	集落活性化事業交付金 各区で実施する地域の活動、運営経費の支援を行なう。	B	B	実績：12区 事業費（交付額）：403,238円	実績：46区 交付額：1,653,017円 【内訳】 東郷：32区 交付額：1,136,609円 泊：12区 交付額：516,408円	前年度から継続して、新型コロナの影響で事業規模の縮小又は、断念を余儀なくされた区も生じていた中、コロナ禍における地域活動での注意点等を記載した資料を各区へ送付。各区における地域活動実施のための支援を行った。	
	地域にぎわい創出事業 地域が実施する運動会、祭りなどの経費補助	B	B	実績：1地域 事業費（交付額）：247,127円	実績：5地域 交付額：770,231円 【内訳】 東郷：4地域 交付額：327,231円 泊：1地域 交付額：443,000円	地域が実施する運動会、祭りなどの経費を補助した。新型コロナウイルスの影響により、事業規模縮小となった。	
	まちづくり創造事業 まちづくりを推進する団体の活動費を助成		B	【実績】 ・創造事業：1団体 交付額：86,884円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円	【実績】 ・創造事業：1団体 交付額：99,718円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円	創造事業、ステップ事業とも1団体ずつ活動があり助成を行った。今年度は、新規1団体の参加があったため、来年度以降も制度を周知し新規団体を増やしたい。	
	ボランティア団体活動助成事業 ボランティア団体の活動費を助成		B		実績：10団体 交付額：305,304円 【内訳】 東郷：6団体 交付額：270,218円 泊：4団体 交付額：80,086円	ボランティア団体の活動に対する補助を実施したが、新型コロナウイルスの影響もあり、ほとんどの団体が交付決定額に比べ実績額が大幅に減となった。（△35%）	
	地域づくり推進事業 地域の新たな担い手育成、地域課題の解決等のためのセミナー等の開催や支援活動等の実施		C			具体的な事業実績なし（事業検討のみ）	各区の抱える課題解決のための事業を検討。R5より各区が町へ行う申請書の作成支援及び各区長宅へ職員が出向き各区の状況や課題を確認する事業を実施する。
地域間交流	関係人口構築事業 都市圏在住の小学生と保護者を招いてサマースクールを開催	C	C	サマースクール 実施回数：0回 参加者数：0人 オンライン交流会 オンラインセミナー 実施回数：3回 参加者数：89人 オンラインツアー 実施回数：1回 参加者数：14人	・サマースクール 実施回数：0回 参加者数：0人 ・オンラインセミナー 実施回数：1回 参加者数：14人 ・現地セミナー 実施回数：2回 参加者数30人 ・現地ツアー 実施回数：1回 参加者数：4組7人	新型コロナウイルス感染症拡大のため、サマースクールは実施を見送った。オンラインセミナー1回、現地セミナー2日、現地ツアー1回を実施し、関係人口の増加促進を図った。	
	拠点施設運営事業 移住検討者と地域住民との交流拠点施設（多世代交流センター・総合相談センター）を運営し、交流の活性化を推進		B			多世代交流センター利用実績：42722人 総合相談センター利用実績：5119人	新型コロナウイルス感染症拡大の中、世代交流センターが前年度並みの42722人で、総合相談センターが前年対比108%であった。新型コロナウイルス感染症の収束とともに、一気に利用者の増加促進を図りたい。
	田舎暮らし・住民交流体験ボランティア事業 移住定住希望者が地域の行事や農作業を体験し、地域住民と交流することにより、移住定住を推進	C	B	実績 体験参加者：0	・受入先新規登録：1件 ・体験ボランティアの受入：2件（4人）	新型コロナウイルス感染症の影響により断続的に受入を中止せざるを得なかった中で、4人の受入を実施し、町の暮らしや仕事を体験していただくことができた。	
(6) その他	ふるさと人材育成奨学金支援助成金 県内の特定業種の企業に就職し、本町に定住する若者の奨学金返還額の一部を助成	C	C	実績：なし ※R3全町申請者件数：1人 新規申請者なし。	実績：なし 新規申請者なし。	新規申請者がなく、実績がないため「C」評価とした。県と協力しながらHP等により制度周知を行っているが、新規申請者なし。今後も県と協力しながら制度周知に努める。	

	地域活性化活動事業 地域活性化のための地域おこし協力隊活動 地域活性化のためのNPO法人活動支援	B	C	みらい創造室:空き家担当2名(継続1名、新規1名)、イベント・情報発信担当2名(継続2名)	みらい創造室:空き家担当3名、イベント・情報発信担当1名	4人のうち3人については、R4新規で業務に不慣れな部分があったことから、進捗が芳しくない面もあった。今後空き家の掘り起こしについては、区長や所有者の聞き取りなど調査を進めている。多世代交流センター、総合相談センターについては、指定管理者とより緊密に連携し、利用促進を図る。
--	--	---	---	---	------------------------------	--

3. 産業の振興

(1) 農業

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
2. 産業の 振興	(1) 基盤整備 農業	農業水路等長寿命化・減災対策事業 既存農林道網の調査及び整備を行う。	C	C	既存農林道のパトロールは、定期的を実施している。	既存土地改良施設について、定期的なパトロールを実施している。 東郷地区3件 門田、川上、高辻水路底張りコンクリート	町既存農林道のパトロールを実施し、大規模な損傷や危険箇所について優先的に修繕を実施した。しかし、損傷の少ない箇所については実施に至っていない。今後、損傷が少ない等の理由により、優先度が低い箇所について、町管理農林道の通行量等により整備箇所の優先順位を決め計画的に実施していきたい。また、泊地域における土地改良施設に係る要望聴き取りを行い、施業提案等を実施する。
		農地維持対策事業 基幹施設(農道、水路、橋りょう等)の維持補修	B	B	実績1件 宇谷地区 カーブミラー取替	東郷地区:水路8件、農道5件、排土3件 泊地区:水路1件、農道2件	東郷・泊地域における土地改良施設の維持補修を図った。
		鳥獣被害総合対策事業 農作物、農業施設に対する有害鳥獣被害の被害防止対策	B	B	R3実績 有害獣駆除 イノシシ箱わな貸出し:2件 ※全町件数:8件 その他箱わな貸出し:1件 ※全町件数:3件 イノシシ駆除:189件 ※全町件数:613件 カラス駆除:実績なし ※全町件数:2回	R4実績 有害獣駆除 イノシシ箱わな貸出し:13件 その他箱わな貸出し:9件 イノシシ駆除:269件 シカ駆除:92件 特定外来生物講習会:1回 カラス駆除:2回実施 捕獲実績なし	箱わなを貸し出すなど有害捕獲に寄与した。また、ヌートリア被害が多い地域において、講習会を行い特定外来生物限定の捕獲許可を行い地域が一体となった捕獲活動が行えた。
		今滝梨生産団地整備事業 北福・漆原地内に団地を整備し、平坦地栽培への移行を促進		B		地元説明(地権者、入植者)を実施。 今滝梨団地測量設計を行い、施工計画案や計画図の作成を実施した。	測量設計業務により、地元説明や採択申請のための資料作成を行い、事業を進めた。
	(4) 地場産業 の振興 加工施設	活性化センターはまなす施設改修事業	B	B	利用者のニーズ等に対応し、施設維持管理を図った。	施設の維持管理のため修繕を行った。(自動ドア改修工事、他修繕) 自動ドア改修工事:594千円 女子トイレ排水修繕:97千円 キュービクル配管修繕:99千円 他	利用者のニーズ等に対応し、施設維持管理を図った。 運営委員会を開催し、施設整備についての意見を聴取した。 適宜、修繕を実施した。

(2) 林業

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
2. 産業の 振興	(1) 基盤整備 林業	多目的保安林再整備事業 多目的保安林「河口城跡ふれあいの森」再整備 雑木撤去・伐採等	C	C	パトロールを行ったが、伐採については実績なし。	パトロールを行ったが、伐採については実績なし。	パトロールを実施し、現状を把握したが、町管理農道や町道等及び民家付近の森林・竹林整備を優先的に整備しているため、多目的保安林の雑木等繁茂に対する再整備実施には至っていない。今後、他の森林・竹林整備の状況を見ながら、周辺の町道路管理者、河口城管理者等と連携をしながら実施に向けて検討していきたい。また、竹林整備事業の活用による実施についても検討していく。
		竹林整備事業 竹林の間伐等 (小浜、筒地、石脇、園、原、宇谷地区)	B	B	泊地域 R3実績：園地区(2,300㎡) 間伐搬出を実施 1箇所等 ※全町2件	R4実績：藤津地区(2,400㎡)、埴見地区(3,700㎡) 間伐搬出、長江地区(1,900㎡) 林内整理	県道付近や民家に近い箇所での竹林間伐を実施し、手入れのなされていない竹林の整備ができた。 引き続き竹林所有者と施工業者を繋げ、一体的な竹林整備を実施していく。

(3) 水産業

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
2. 産業の 振興	(10) 過疎地 域持続的 発展特別 事業 第1次産業	キジハタ種苗放流(栽培漁業地域支援対策事業)	B	B	県漁協泊支所、中部漁協に対して補助を行った。(事業費：164千円)	県漁協泊支所に対して補助を行った。(事業費：164千円)	水産物の安定供給、漁村部の地域振興に資することができた。
		サザエ、アワビ種苗放流(持続可能な栽培漁業推進事業)	B	B	放流用種苗の購入経費の補助を行った。(事業費：489千円)	放流用種苗の購入経費の補助を行った。(事業費：488千円)	生産量の増大を図った。
		就業希望者の研修補助(漁業者就業確保対策事業)	B	B	漁業技術等を習得するための研修に対して補助を行った。(事業費：2,546千円)	漁業技術等を習得するための研修に対して補助を行った。(事業費：2,386千円)	1名の定置網漁業研修生に対して、支援を実施できた。
		省エネ型エンジン購入費補助(がんばる漁業者支援事業)	-	-	-	-	該当なし
		漁船用機器購入補助(がんばる漁業者支援事業)	-	-	-	-	該当なし
		輸送経費補助(がんばる漁業者支援事業)	B	B	泊～賀露間の輸送経費に対して補助を行った。(事業費：1,107千円)	泊～賀露間の輸送経費に対して補助を行った。(事業費：988千円)	生産意欲と収入の向上につなげ、漁業の活性化を図った。
		みなと広場維持管理事業	B	B	みなと広場の維持管理を図った。東屋、多目的トイレの修繕(事業費：289千円)	みなと広場の維持管理を図った。(事業費：373千円)	引き続き施設の適切な維持管理を行う。
		東郷湖覆砂事業(東郷湖漁協漁業振興補助金)	/	B	/	覆砂事業に対して補助を行った。(事業費：1,318千円)	引き続き湖の環境整備を図り、シジミの育成につなげる。
東郷湖クリーンアップ事業(内水面漁場環境保全事業)	/	B	/	湖内の清掃活動に対して補助を行った。(事業費：743千円)	引き続き湖の環境整備を図り、シジミの育成につなげる。		

(4) 商工業

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
2. 産業の 振興	(10) 過疎地域持続的発展特別事業 商工業・6次産業化	創業・特産品開発等支援事業 (創業・販路開拓支援事業)	B	B	実績：2件(事業費：969千円) ※全町申請件数：6件	実績：4件(事業費：1,227千円) ※全町申請件数：9件	創業者(2件)及び販路開拓(2件)の取り組みに対し補助金を交付し支援した。
		(地域産業資源活用事業)	C	B	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件	実績：2件(事業費：201千円) ※全町申請件数：3件	2事業者(野花梅の加工品)を支援し、地域の特色ある資源の活用を推進した。
		企業誘致事業 (企業拡充奨励金事業) (企業立地奨励金事業) (企業立地事業費補助金事業)	C	B	(企業拡充奨励金事業) 実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件 (企業立地奨励金事業) 実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件 (企業立地事業費補助金事業) 実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件	(企業拡充奨励金事業) 実績：3件(事業費：2,343千円) ※全町申請件数：3件 (企業立地奨励金事業) 実績：1件(事業費：253千円) ※全町申請件数：3件 (企業立地事業費補助金事業) 実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件	企業立地や事業規模拡充を推進するため、引き続き周知等に取り組んでいく。
		旧東郷中学校等跡地利用推進事業		B		実績：旧東郷学校給食センター等の一部施設の利用について、福羅酒造株式会社と契約を締結した。 また、6月末を期限としていた民間提案の募集を8月末に延長。優先交渉権者を決定し、現在事前協議中。	慎重かつ迅速に、進行させる。
	その他	雇用確保事業 (雇用促進奨励金事業)	C	C	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：1件	実績：0件(事業費：0千円) ※全町申請件数：0件	雇用を推進するため、町広報誌や町ホームページでの周知、ハローワーク、町商工会等関係団体を通じての制度周知に取り組んでいく。 (評価をCにした理由：申請件数が0件だったため。)

(5) 観光及びレクリエーション

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
(9) 観光又は レクリエーション		観光客受入環境整備事業 (観光案内板整備)	B	-	実績：1ヶ所(事業費：1,089千円) ※全町設置数：18ヶ所	令和4年度 予算措置なし ※全町設置数：18ヶ所	令和4年度 該当なし
		グラウンド・ゴルフのふる里公園施設整備事業 (スーパースライダー整備・改修) (コース内施設整備・改修) (公園内工作物整備・改修)	B	B	R3：景観の支障となっていた立木を伐採し、施設の魅力度向上を図った。 R3：公園内の恐竜模型2体の再塗装を実施した。	R4：公園内の恐竜模型3体の再塗装をおこなった。	グラウンド・ゴルフのふる里公園について、施設の整備改修を行った。
		泊駅舎整備事業 泊駅舎の改築について、設計を行い工事に着手した	B	B	R3実績：駅舎設計完了	7月改築完了	最終工期までに工事完了。
		多目的温泉保養施設整備事業 (施設整備・改修)		B		R4：昇温ポンプ、スライダーポンプ、補給水ポンプ、フィルター式ろ過機、空調ポンプ、消火ポンプの更新をおこなった。	R3に実施した施設調査診断結果に基づき老朽化していた各種ポンプの更新をおこなった。
		松崎駅トイレ等整備事業		C		実績なし	これまでは泊駅舎の建て替え工事に注力していたため、松崎駅についての検討が進んでいなかったが、今後、駅舎も含め整備を検討していく。

2. 産業の振興	(10) 過疎地域持続的発展特別事業 観光	観光客受入環境整備事業 (着地型観光商品造成) (各種地域振興イベントの開催) (公衆無線LAN整備支援)	C	C	(着地型観光商品造成) 商品造成支援件数：0件 (各種地域振興イベントの開催) 泊漁港での花火を12月に実施。その他のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。 (公衆無線LAN整備支援) 整備支援件数：0件	【着地型観光商品造成】 予算措置なし(観光協会による新たな商品造成もなし) 【各種地域振興イベントの開催】 水郷祭を7月17日、泊夏まつりを7月30日に開催。 【公衆無線LAN整備支援】 実績 0件(事業費：0千円) ※全町実績 0件	【評価をCとした理由】 着地型観光商品については新たな商品造成はなく、既存の観光商品も東郷梨選果場見学など新型コロナウイルス感染症により一部中止としたものもあった。公衆無線LAN整備支援については、過疎地域だけでなく、全町の実績もなし。 水郷祭、泊夏まつりについては開催。 ※着地型観光商品：今滝滝床、野花梅溪ツアー等 【対策・今後の取組】 既存の着地型観光商品は東郷梨、野花梅など本町の特徴を存分に生かしたものである。観光商品の造成については観光協会が主となっているため、連携の上、既存の観光商品のブラッシュアップを図りながら、新規商品の開発を進めていく。公衆無線LAN整備支援事業については、令和3年度から実施の事業であるが大規模な旅館は改修済みであり、実績もなかったことから、今後は予算措置を行わない。
	グラウンドゴルフのふる里公園指定管理事業 (施設指定管理)	B	B	グラウンドゴルフふる里公園の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 (事業費 10,211千円)	グラウンドゴルフふる里公園の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 (事業費 8,555千円)	利用者の利便性向上及び経費削減のため、引き続き指定管理者による適切な施設管理を行っていく。	
	多目的温泉保養施設指定管理業務 (施設指定管理)		B		町多目的温泉保養施設の維持管理などを指定管理者を定めて運営した。 (事業費 43,328千円)	利用者の利便性向上及び経費削減のため、引き続き指定管理者による適切な施設管理を行っていく。	
	グラウンド・ゴルフ振興事業 グラウンド・ゴルフの振興とスポーツ拠点化のため、各種イベント等を支援する。 (グラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金) グラウンド・ゴルフの振興とスポーツ拠点発展を目的とする大会開催を支援する。	C	B	参加募集を行い、21都道府県からの参加申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染拡大のため、大会を延期後、最終的に中止とした。	6月11日(土)・12日(日) 潮風の丘とまり 参加者 192チーム 576人 参加申込 21都府県	参加者を768人から576人に減らして実施した。(チーム数192は変更せず、1チームの人数を4人から3人に変更) 参加申込21都府県。	
	(ワールドマスターズゲームズ2021関西補助金) グラウンド・ゴルフの振興と国際化を目的としてワールドマスターズゲームズにおいてグラウンド・ゴルフ競技の実施を支援する。	C	C	新型コロナウイルス感染拡大により、ワールドマスターズゲームズ開催が2027年に延期となった。	再延期の日程が2027年に決定した。	再延期の日程が2027年に決定したが、実施内容については、組織委員会、県、開催地が調整をしている。今後も継続して協議等を行い、大会開催に向けた準備を進めていく。	
	(グラウンド・ゴルフ国際大会補助金) グラウンド・ゴルフ交際化を目的として、世界各国の参加者による大会開催を支援する。	C	C	国外からの渡航ができず、国内の移動についても制限された状態のため、中止とした。代替として県内の外国籍の方を対象とした交流大会を開催した。	10月29日(土)・30日(日) 潮風の丘とまり 外国籍 2か国 5人 日本 53人	海外からの渡航制限のため、国内在留者を対象とし、コロナ感染拡大防止のため、募集人数を制限して大会を開催した。 渡航制限の緩和やコロナ終息により、海外からの参加ができるようになれば積極的な集客を図っていく。	
	(ジュニアグラウンド・ゴルフ発祥地大会補助金) ジュニアスポーツ振興とグラウンド・ゴルフ発祥地の振興を目的とする大会開催を支援する。	C	A	新型コロナウイルス感染拡大のため、中止とした。	8月6日(土)開催 参加者87人	令和2年、3年については新型コロナウイルス感染拡大の影響により大会が中止となったが、令和4年度は3年ぶりに開催することができた。今後は参加者増となるよう周知を図りたい。	
	(グラウンド・ゴルフ国際化推進事業)	C	C	新型コロナウイルス感染拡大のため、海外での普及活動は実施を見合わせたが、海外の協会等に対する用具提供・販売に注力し、海外での普及を図った。	中古クラブ・ボールを7か国に約400本・個提供した。湯梨浜まちづくり隊による用具販売で、7か国に約5,000千円売り上げた。	新型コロナウイルス感染拡大のため、海外での普及活動は実施を見合わせた。海外の協会等に対する用具提供・販売に注力し、海外での普及を図った。	
スポーツ振興事業 (全国ベテラン卓球ゆりはま東郷大会補助金)		B		9月3日(土)・4日(日) あやめ池スポーツセンター 団体 7府県 68人 個人 7府県 45人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、募集人数を制限して開催した。		

(6) 産業振興促進事項

産業振興促進区域	業種	計画期間	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
泊地域(旧泊村)及び東郷地域(旧東郷町)全域	製造業、情報サービス業等、農林水産物等販売業、旅館業(過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法第23条に定められているすべての業種)	泊地域 令和3年4月1日～令和8年3月31日 東郷地域 令和4年4月1日～令和8年3月31日	C	C	要望なし。	申請なし。	企業立地や事業規模拡充を推進するため、引き続き周知等に取り組んでいく。

4. 地域における情報化

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
3. 地域における情報化	(1)電気通信施設等情報化のための施設 その他情報化のための施設	地域BWAシステム基地局整備支援事業 事業者による基地局の整備を支援する	B	C	実績なし	事業者に泊地域への整備検討をお願いしたが、業務区域に同数整備の方針もあり、今年度の追加は困難と回答。	事業者について、検討を促した。泊地域への整備にむけて、引き続き事業者と協議を継続する。
	(2)過疎地域持続的発展特別事業 その他	デジタルデバインド(情報格差)解消事業 デジタルデバインド(情報格差)解消のため、高齢者等への情報技術習得機会の提供や、情報学習を支援	B	B	地域おこし協力隊制度を活用し、講師役として1名を採用。12月より地域おこし協力隊員(デジタル担当)が、個別相談及び教室を開催した。実施件数:88件	引き続き地域おこし協力隊により羽合、東郷、泊の各地域において週1回、個別相談及び教室を開催。	羽合、東郷、泊地域を毎週、1日づつ回っており、順調に推移。 令和4年度以降も、引き続き実施の予定。

5. 交通施設の整備、交通手段の確保

(1) 交通施設の整備

ウ 事業計画(令和3年度~令和7年度)

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
4. 交通施設の整備、交通手段の確保	(1)市町村道路	甲亀山線(防災) 越波対策 L=61.1m	B	B	R3実績:測量・設計完了、工事着手(L=61m)	R4工事完了	R4工事完了。
		原線(防災) 落石対策 L=33.6m	B	B	R3実績:測量・設計完了(L=33m)	R4工事完了	R4工事完了。
		原線(バイパス)		C		進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。
		宇谷溜池線(道路延長)		C		進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。
		宇谷荒浜線(側溝改良)		C		進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。
		方面高辻線(道路拡張)		C		進捗なし。	現状では、緊急度の高い防災関連の道路事業を優先して実施しているため、道路新設・改良・拡幅などの事業進捗が図れていない。また、国の社会資本整備総合交付金の交付状況に道路事業の進捗が影響されるため、当該路線の現状での優先順位を示すことは困難である。
		埴見第2支線(道路改良)		B		実績:測量・設計完了(L=50m)	R4測量設計を完了。令和5年度から用地買収、工事を実施する。
		冠水対策事業 (道路嵩上げ、側溝整備)		B		旭地区、門田地区の冠水対策の測量を実施。	令和5年度以降、設計を行い、冠水対策工事を実施する。
		地域除雪活動支援事業		B		実績:35区 事業費(補助金):1,245,000円	地域が実施する除雪活動に対して、活動経費を補助した。今後も継続して支援を実施していく。

		除雪機械運転手育成事業		B		実績：2事業所 3名 事業費（補助金）：161,000円	除雪機械の運転に必要な資格の取得に対して、支援を行った。 今後も継続して支援を実施していく。
		道路網再編計画調査研究 (小浜・園地区国道・JR横断) (一里浜線 宇谷延長、インターアクセス、佐美・門田バイパス等)	C	C	進捗なし。	進捗なし。	外部委託での計画調査研究を予定しているが、他の道路事業を優先するため未着手である。今後の着手時期についても現状では未定である。
	橋りょう	橋りょう点検・修繕 泊地域 13基 総延長 L=202m 東郷地域 総延長 L=711m	B	B	橋りょうについて、点検を行うとともに、1橋の改修を行った。	橋りょうについて点検を行った。	泊地域6橋、東郷地域20橋の点検を実施。橋梁の損傷具合等を考慮した計画通り、R4年度は泊地域、東郷地域共に工事を実施していない。 引き続き橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な点検補修を実施する必要がある。
(10) その他		泊地下道改修 1箇所 他	C	B	管理者である国土交通省倉吉河川国道事務所との協議を行った。	管理者である国土交通省倉吉河川国道事務所と協議を行った。 R4上屋補修を国交省が実施。	一般国道9号泊横断地下道が老朽化しており、上屋補修について、国交省が道路施設として補修を行い、町が引継ぎ管理を行うことで協議を行った。 ワールドマスターズの開催もあり、早期の着手について依頼した。 令和4年3月議会にて道路認定済「町道地下道線」 令和5年度、重複管理協定、内装の補修を実施予定

(2) 交通手段の確保

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
4. 交通施設の整備、交通手段の確保	(9) 過疎地域持続的発展特別事業 公共交通	生活路線バス補助 路線バスの運行実績に応じた赤字額を町が補助	B	B	バス運行事業者に対し、支援を行なった 事業費：17,948千円 (17,947,961円)	バス運行事業者に対し、支援を行なった 事業費：14,049千円 (14,048,722円)	引き続き、交通網維持のため、支援を行なっていく。
		高齢者定期券購入費助成事業 3カ月、6カ月、1年定期券の購入費を助成	B	B	泊地域：19人(全町85人) 事業費：142千円	泊地域：17人 東郷地域：18人 事業費：211千円	広報ゆりはま等で周知を図り、定期購入費の補助を行った。 引き続き、交通網維持のため、支援を行なっていく。 ※過疎債：200千円(資料には、掲載しない)
	その他	共助交通支援事業 住民相互による移動支援活動の支援・補助	B	B	説明実施：1区(園区)	原区により実施	原区が共助交通実施。

6. 生活環境の整備

(1) 水道施設

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
5. 生活環境の整備	(1) 水道施設 簡易水道	簡易水道事業 老朽管路更新事業 水源地・配水池整備事業	B	B	日常監視により漏水状況等を確認。	日常監視により漏水状況等を確認。	日常監視(水道監視システム)により漏水状況を確認し、更新管路の検討を進めた。 ※水道監視システム：各水源地等に設置し、水道配水量等を監視。

(2) 下水処理施設

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
5. 生活環境の整備	(2) 下水処理施設 公共下水道(特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理事業)	・農業集落排水施設の特定環境保全公共下水道(泊浄化センター)への接続 泊浄化センターへの接続について検討を行う。	B	B	泊浄化センターへの接続について検討を実施。	進捗なし	泊浄化センターへの接続について、業者によるデータ収集に基づき処理施設間の接続検討を行った。今後、費用対効果も考慮しつつ、有効なものから順次、事業実施について検討する。 令和5年度より泊浄化センターの改築を予定しているため、施設統合を視野に入れた改築計画の検討を行う。
		・農業集落排水施設間の接続(施設統廃合)		B		川上地区と高辻方面地区の統合の令和7年度からの事業化に向けた検討を実施。	令和7年度からの事業採択(国庫補助事業)に向けて補助事業申請に必要な準備を進める。
		・特定環境保全公共下水道、公共下水道、農業集落排水処理事業の普及	B	B	宅地造成に伴い特定環境保全下水道区域(原地区1件)、農業集落排水処理区域(宇谷地区1件)の下水道汚水樹整備を実施。	宅地造成に伴い公共下水道東郷処理分区(久見地区1件)の下水道汚水樹整備を実施。	住環境整備のため1件の下水道施設整備を実施した。今後も必要に応じて継続した下水道整備を実施する。
	その他	特定環境保全公共下水道(泊浄化センター)、公共下水道(野花ポンプ場)の各施設、管路、各マンホールポンプ場のストックマネジメント計画策定及び実施設計に基づく改築事業 東郷池周辺内水浸水対策事業(雨水)	B	B	泊浄化センター再構築に向けたストックマネジメント計画の策定を行った。	処理場、ポンプ場の改築については進捗無し。 浸水対策事業については、龍島地区の排水ポンプ場が竣工した。	泊浄化センターの改築更新に向けた計画を策定した。今後、計画に基づき改築設計工事を実施していく。 東郷湖周辺内水浸水対策事業については、引き続き松崎地区の排水ポンプ場建設に向けて取り組んでいく。
	(7) 過疎地域持続的発展特別事業 生活	地方公営企業会計適用事業 資産調査、整理及び会計システム導入	B	B	令和4年度からの企業会計移行に向けた資産調査、システム導入を行った。事業費31,911千円(うち泊地域6,809千円)	令和4年度より公営企業会計に移行し、導入した会計システムの支援として業務委託を実施。	令和4年度から地方公営企業会計へ移行するための資産調査、システム導入を実施した。令和4年度からは会計システムに係わる支援業務を実施。
		小規模集合排水の管路施設台帳調製・既存公共下水道台帳システムへの移行	B	B	台帳システム移行に向けた検討を実施。	進捗無し	公共下水道台帳システムへの移行に向けた検討を実施。今後、公共下水道台帳システムの更新に併せて小規模集合排水施設の台帳化も実施予定。

(3) ごみの減量化と処理

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
5. 生活環境の整備	(7) 過疎地域持続的発展特別事業 生活	環境パトロール 分別の徹底、住民との協働 各区のごみ排出状況を確認し、分別の徹底について周知を行う。	B	B	取組区域 実績:0区 ※全町件数:4区	取組区域 実績:0区 ※全町件数:3区	各地域において輪番で実施しているため泊地区ではR5、東郷地区ではR6に実施予定。
		生ごみ分別回収・肥料化拡大事業 取組区域の拡大支援	B	B	取組区域 実績:2区 ※全町件数:9区	取組区域 実績:7区 ※全町件数:9区	新規の協力区が無かったため、今後も広報活動を実施しリサイクルへの協力を仰ぎたい。
		生ごみ処理機購入助成 購入助成 1件2万円	C	B	実績:0件(事業費:0千円) ※全町申請件数:8件	実績:2件(事業費:29千円) ※全町申請件数:4件	泊地区、東郷地区において各1件の補助を実施した。今後も広報活動を強化しごみ減量を促進させたい。
	環境	不法投棄監視員・環境美化促進員の委嘱設置(地域内の巡視) 1名	B	B	巡視回数 実績:34回 ※全町件数:102回	巡視回数 実績:72回 ※全町件数:108回	不法投棄監視員を泊・東郷地区担当として各1名委嘱し、月1回の巡回を実施した。環境美化促進員は3名を委嘱、泊・東郷地区において月2~3回の巡回を実施した。小型冷蔵庫等のリサイクル家電やタイヤ等の処理費のかかるものが増加傾向にあるため、今後も不法投棄と環境美化推進のため巡回を行う。
		地域清掃・海岸清掃活動支援 ボランティア清掃活動の回収 ごみの処分	B	B	ボランティア清掃実施回数 実績:17回 ※全町件数:36回	ボランティア清掃実施回数 実績:20回 ※全町件数:38回	泊地区では海岸清掃、東郷地区では東郷池周辺の清掃活動が行われた。引き続き、清掃ボランティアを支援していく。
		ごみ収集ステーションの設置・整備 未設置行政区へ設置 既存施設の整備	B	B	ゴミステーションの設置補助 実績:1件 ※全町件数:7件	ゴミステーションの設置補助 実績:5件 ※全町件数:6件	東郷地区において5件の修繕に対し補助を行った。全区を対象に翌年度の新設・修繕の意向照会を実施するとともに区長会において、ごみ収集ステーション及び補助制度の説明を行っており、今後も衛生環境維持のため、制度を周知し、支援を行なう。

(4) 消防施設

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
5. 生活環境の整備	(5) 消防施設	消防自動車購入事業 CD-1型 1台更新	B	A	和7年度に、製造から20年経過する消防自動車(泊・分団用)の更新を行う。消防自動車の整備に向け検討を行った。	分団再編を含め、ポンプ車の更新を検討	泊地域の消防団、第4分団と第5分団を団員減少に伴う分団再編を実施。それに伴い、令和7年度に、製造から20年経過する第4分団の消防自動車の更新は不要となった。今後は、東郷地域の消防団のポンプ車が令和9年度に20年を経過するため、更新を検討していく。
		消防整備事業費補助 ホース、格納箱整備 区の管理する消防ホース、格納箱について、整備費の補助を行う。	B	B	補助件数 実績：9件 ※全町件数：33件	補助件数 延31件 (泊地域10件 東郷地域21件) ※全町件数41件	区の管理する消防設備について、地域の申請に基づき補助を行った。今後も区長会において、補助制度の紹介を行っていく。
		中型免許及び自動普通二輪取得事業補助 5件 消防団員の免許取得について、補助を行う	B	B	補助件数 実績：0件 ※全町件数：0件	補助件数 実績：0件 ※全町件数：0件	申請者がなかったが、引き続き団員に対し勸奨を行う。

(5) 公営住宅

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
5. 生活環境の整備	(6) 公営住宅	町営住宅の維持管理 町営住宅について設備の維持管理を行う。	B	B	町営住宅の維持管理を行った。 事業費：2,770千円	町営住宅の維持管理を行った。 事業費：3,000千円	水道、ガスの配管類やドア、床等建具の経年劣化による修繕を実施し、適正な維持管理に努めた。
		東郷地域松崎地区町営住宅建替事業		B		レークサイド長江団地が完成し、解体予定の町営住宅からの移転者らの入居を実施した。 事業費：477,478千円 木造2階建3DK：12戸 木造平屋2DK：10戸	ほぼ計画通りの進捗であった。今後は町営住宅の建替、堀の内団地及び桜団地の一部の解体を実施する。
		泊地域公営住宅の建替事業における民間活力の導入可能性調査業務 泊地域公営住宅の建替事業における民間活力の導入可能性調査を行う。	B	B			町営住宅等長寿命化計画に基づき、令和11年以降の建替えに向けて検討を進める。

(6) その他

ウ 事業計画(令和3年度～令和7年度)

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
5. 生活環境の整備	(7) 過疎地域持続的発展特別事業生活	現金自動預け払い機(ATM)の整備補助事業 金融機関ATMの整備について、支援を行なう。	B	B	金融機関との協議を実施した。	山陰合同銀行が実施した泊支所敷地内へのATM(1基)移設費用及び維持管理費の支援(補助率2/3)をした。 事業費：3,856千円 (内訳) 移設費補助：3,813千円 維持管理費補助：43千円	山陰合同銀行のATM(1基)を泊支所敷地内に移設した。今後もATM維持管理費の一部を支援することで泊地域の地域生活の利便性を確保する。

7. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

(1) 児童福祉

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
	(2) 認定こども園	こども園整備事業 泊地域内の2園を統合し、新たな施設を整備	B	C	こども園の施設整備について検討を行った。	【泊地域】 2園の統合について、具体的な検討は進んでいない。	人口減少の見通しから、泊地域の2園は新築統合する方針としているが、現状では、他地域からの入園が多くある。人口推移や他地域の状況を考慮しながら、統合する場合の場所や時期、規模について検討したい。 【参考】H28：あさひ48人、わかば30人 計78人 R4：あさひ45人、わかば48人 計93人

6. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

	<p>こども園施設改修事業 本地域のこども園の老朽箇所等の改修を行い、良好な保育環境を維持する</p>		B		<p>【泊地域】 わかばこども園園庭入口街路灯設置（328千円）、わかばこども園滑り台更新（484千円）ほか 計6件（943千円） 【東郷地域】 まっさきこども園プールサイド床面改修（4,451千円）ほか 計8件（5,096千円）</p>	<p>老朽化による緊急的な修繕や計画的な修繕、工事を実施することで、子どもたちが健やかで安心して過ごせる環境を確保し園運営を進めることができた。</p>
(8)過疎地域 持続的発展 特別事業 その他	<p>出産・入学・卒業祝い金支給事業 第3子以降児の保護者へ出産祝い金、小学校入学祝い金、中学校卒業祝い金を支給</p>	B	B	<p>第3子以降児の保護者へ出産祝い金、小学校入学祝い金、中学校卒業祝い金を支給 出産祝い金 4件（事業費：200千円） ※全町件数：40件 小学校入学祝い金 4件（事業費：120千円） ※全町件数：29件 中学校卒業祝い金 5件（事業費：150千円） ※全町件数：24件</p>	<p>出産祝い金 【泊地域】7件（事業費：350千円） 【東郷地域】2件（事業費：100千円） ※全町件数：42件 入学祝い金 【泊地域】3件（事業費：90千円） 【東郷地域】5件（事業費：150千円） ※全町件数：25件 卒業祝い金 【泊地域】3件（事業費：90千円） 【東郷地域】6件（事業費：180千円） ※全町件数：19件</p>	<p>児童を養育する家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。今後も引き続きHPや広報等で制度周知を図っていく。</p>
	<p>妊婦健康診査事業 妊婦健康診査費助成で安全で健康的な出産を支援</p>	B	B	<p>【泊地域】13人（事業費：786千円） ※全町件数136人（事業費：15,432千円）</p>	<p>【泊地域】8人（事業費：829千円） 【東郷地域】34人（事業費：1,724千円） ※全町件数122人（事業費：15,267千円）</p>	<p>妊婦1人あたり平均約13回の健診助成を行い、妊婦の安心安全な出産を支援することができた。</p>
	<p>ファミリーサポートセンター事業 講習会、交流会の開催</p>	B	B	<p>講習会、交流会の開催 泊地区サポート会員数 19人 ※全町サポート会員数：186人 研修会等を実施した。 実施回数：0回 サポートを実施した。 実施回数：1回</p>	<p>講習会の開催 【泊地区】サポート会員数12人 【東郷地区】サポート会員数18人 ※全町サポート会員数：45人 研修会等を実施した。 実施回数：0回 サポートを実施した。 実施回数：3回 （泊：2回、東郷：1回）</p>	<p>ファミサポの利用により、保護者が安心して子育てをする環境の支援を図ることができた。泊地区と東郷地区の利用者の減少が見られるので、提供会員の募集とともに周知活動に努めていく。また新たな取り組みとして、羽合地区で「初めてのファミサポ体験会」を実施。今後は東郷・泊地域での実施も検討する。</p>
	<p>泊・東郷放課後児童クラブ事業</p>	B	B	<p>健全な児童の育成をはかった 児童クラブ登録者数：52人 事業費：6,427千円</p>	<p>放課後の居場所を提供し、健全な児童の育成を支援した。 【東郷第1】登録69人 事業費10,241千円 【東郷第2】登録26人 事業費8,935千円 【泊】登録41人 事業費8,790千円</p>	<p>安心して児童が過ごせる放課後の居場所を提供し、保護者の子育てと仕事の両立支援をすることができた。</p>
	<p>子育て支援センター事業 育児相談、親子交流、保健相談 子育て支援センターの運営を図る</p>	B	B	<p>子育て支援センターの運営に努めた。 泊支援センター開設日数：0日 育児相談：0回 親子交流会：0回 保健相談会：0回 職員研修：0回</p>	<p>子育て支援センターの運営に努めた。 【泊地域】泊支援センター開設日数：0日 【東郷地域】 東郷支援センター開設日数：56回 育児相談：3回 親子交流会：12回 保健相談会：4回 職員研修：0回</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、泊支援センターは開所できなかった。R5年度は開所を検討し、町内全域で子育て支援を実施していく。東郷支援センターでは、育児の悩みを共有しながら育児支援を図ることができた。</p>
	<p>家庭子育て支援事業</p>	B	B	<p>2歳未満児を家庭で子育てする者へ給付金を支給し、家庭での子育てを支援した 申請件数（R3.4.1～R4.3.31）：11件 事業費：1,996千円 ※全町件数：101件</p>	<p>申請件数（R4.4.1～R5.3.31）： 【泊地域】8件 事業費：1,385千円 【東郷地域】24件 事業費：5,028千円 ※全町件数：105件</p>	<p>家庭子育て支援事業給付金の支給により、低年齢児の家庭で子育てを選択する契機となり、経済的支援に繋がったと考える。</p>
(9)その他	<p>多子世帯保育料無償化 こども園等へ入園する第3子以降児の保育料を無償化</p>	B	B	<p>保育料無償：5人 事業費：1,852千円 ※全町件数：37人</p>	<p>保育料無償：「泊地域 10人 事業費：2,858千円」「東郷地域 32人 事業費6,675千円」 ※全町件数：78人</p>	<p>こども園に通う第3子以降の保育料について、無償化を行い、子育てを行う家庭の経済的負担を軽減することができた。</p>
	<p>児童虐待防止ネットワーク整備事業 ゆりはまずこやかライン（休日夜間電話相談）の実施</p>	B	B	<p>利用者数（件数）：0人 事業費：61千円（電話料金） ※全町件数：0件</p>	<p>利用者数（件数）：0人 事業費：59千円（電話料金） ※全町件数：0件</p>	<p>子育て相談窓口として、24時間電話相談を実施している。子育て相談は子育て支援課直通にかけてこられる事が多く、実績はない。</p>

母子手帳アプリ情報配信サービス 妊娠～子育て中の世代に対し子育てに関する情報配信・相談を行う。	B	B	利用者数（件数）：把握できない 事業費：396千円 ※全町件数：428人	利用者数（件数）：把握できない 事業費：396千円 ※全町件数：565人	妊娠中～子育て中の方に活用を促しており、情報発信に努めることができた。今後も、保護者に役立つ子育てに関する情報発信を行っていく。
産前産後支援事業 産前産後の妊産婦を対象に心身のケアや家事援助等の支援を行う		B		・デイサービス型：泊2件、東郷0件（事業費26千円）※全町件数32件 ・宿泊型：泊4件、東郷0件（事業費128千円）※全町件数12件 ・訪問型：泊0件、東郷2件（事業費6千円）※全町件数11件 ・ヘルパー派遣：泊0件、東郷0件 ※全町件数0件	産後ケア事業の利用により、産婦の心身のケアや不安の解消を図った。今後も妊娠届出時及び訪問時に事業の周知を行うとともに、医療機関との情報共有を行い、心身の不調が軽度のうちに利用してもらえるようにしていく。
乳児家庭全戸訪問事業 生後4カ月までの乳児のいる家庭を訪問し、必要な情報を提供を行った。	B	B	訪問件数：8件（8回） ※全町件数：127件	訪問件数：泊15件、東郷17件 ※全町件数：141件	乳児のいる家庭を訪問し、必要な情報提供や保護者の育児不安の解消に努めた。訪問を通してその後の支援の必要性も確認し、必要な支援につなげていく。
乳児健診事業 3～4カ月児、9～10カ月児の乳児健診を医療機関へ委託実施	B	B	健診件数：16件（16回） 事業費：99千円 ※全町件数：258件	健診件数：泊22件、東郷53件 事業費：471千円 ※全町件数：263件	健診による疾病の早期発見や子育て不安の強い保護者に対して支援ができるよう、健診を実施した。受診率100%を目標に、訪問時や健診時の声掛けや個別での声かけを行っていく。
乳幼児健診事業 6カ月児健診等各種健診を実施	B	B	健診件数：9件（9回） ※全町件数：95件	健診件数：泊8件、東郷28件 ※全町件数：140件	健診による疾病の早期発見や子育て不安の強い保護者に対して支援ができるよう、健診を実施した。受診率100%を目標に、訪問時や健診時の声掛けや個別での声かけを行っていく。
病児・病後児保育事業 病気療養中又は病気回復期の児童を保育し、保護者の就労と子育ての両立を支援	B	B	病児保育利用件数：9件 ※全町件数：延べ61件 病後児保育利用件数：0件 ※全町件数：延べ17件	病児保育延べ利用件数：泊7件、東郷16件 ※全町件数：44件 病後児保育延べ利用件数：泊1件 ※全町件数4件	子の看護のための休暇が取得できない保護者の、仕事と子育てを両立させる手段として定着してきている。

(2) 社会福祉

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3（泊地域のみ）	R4	
6. 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進	(5) 障害者福祉施設	地域活動支援センター 障害者総合支援法の施行により、市町村が実施主体となる地域生活支援事業の必須事業。保健福祉センターつわぶき荘内に、障がい者等の創造的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流促進を図るために地域活動支援センターを設置し、障がい者等の地域生活支援の促進を図る。	B	B	実績：3人（事業費：4,400千円） ※全町申請件数：12人、6,347千円	実績：泊地域2人（事業費：1,441千円）、東郷地域5人（事業費：2,476千円） ※全町申請件数：10人、4,971千円	泊地域2人、東郷地域5人の対象者に対し、障がいのある方の地域生活支援を実施することができた。
		介護予防・日常生活支援総合事業	B	B	コロナウイルス感染症の影響もあり、利用者の減少や利用控えがあった。	全町実績：筋トレ（延べ1411人） 脳トレ（延べ274人） ミニデイ（延べ504人） （事業費：36,763千円）	コロナウイルス感染症の影響もあり、利用控えがあったが、前年度から利用者が回復した事業もあった。 （筋トレ・脳トレ・ミニデイ等11事業）
		高齢者及び障がい者住宅改良助成事業（総合福祉課）	B	B	該当なし	障がい者の住宅改良について制度周知を行った。 実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	令和4年度は、障がい者については該当なし。広報等については実施できた。
		高齢者及び障がい者住宅改良助成事業（長寿福祉課）	B	B	高齢者の住宅改良について制度周知を行い、支援を行なった。 実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：0件	高齢者の住宅改良について、制度周知を行い、支援を行なった。 実績：2件（泊1件、東郷1件）（事業費：837千円）	令和4年度は、2件の申請（実績）があり、高齢者を介護する家族の負担軽減を図ることができた。
		包括的支援事業（地域包括支援センターの運営） 総合相談 介護予防ケアマネジメント	B	B	総合相談487件、介護予防ケアマネジメント468件の対応を行ない、対象となる方を介護保険申請に繋ぐことができた	全町実績：総合相談（520件） 全町実績：介護予防ケアマネジメント（394件）（事業費1,367千円）	総合相談については、介護保険申請や認知症を含む介護予防の相談が多くあり、適切にサービス利用や医療機関へつながらせるように支援を行うことができた。ケアマネジメントについては、自立支援を目標にケアマネジメントを行うことができた。
	重度障がい者等タクシー料金助成事業 高齢者タクシー料金助成事業	A	A	実績：42件（事業費：101千円） ※全町申請件数：185件（事業費683千円）	実績：151件（泊65件、東郷86件）（事業費917千円） 全町実績：283件（事業費1,816千円）	令和3年度までは1回の乗車につき、使用できる乗車券の枚数が1枚となっていたが、令和4年度から使用枚数の上限を撤廃した。枚数制限がなくなったことで使用率は令和3年度の約39%から令和4年度は約69%と増加し、申請者も前年度比約65%増となり事業の浸透につながった。今後も利用者のニーズに合わせた基準へと変更していく。	

	難聴高齢者補聴器購入費助成事業	C	B	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：4件（事業費120千円）	実績：7件（泊3件、東郷4件）（事業費：210千円） ※全町実績：18件（事業費540千円）	本事業は令和3年8月から開始した事業で、年度末までに20名の申請を予定していたが、広く町民への周知ができなかったことにより、評価をCとした。令和4年度は、年3回の町報への情報掲載により、申請件数は増加したものの、まだ広く周知ができていない状況がある。広報活動にさらに力を入れて、より多くの方に利用いただけるようにする。
	小地域拠点集会所等バリアフリー事業	B	B	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：5件、1,691千円	実績：泊地域0件（事業費：0千円）、東郷地域1件（事業費：411千円） ※全町申請件数：3件、1,743千円	泊地域について該当なし、東郷地域については1件の実施があった。今後も継続して周知啓発に取り組む。
	重度障がい者等タクシー料金助成事業	B	B	実績：0件（事業費：0千円） ※全町申請件数：15件、68千円	実績：泊地域3件（事業費：31千円）、東郷地域6件（事業費：61千円） ※全町申請件数：17件、138千円	泊地域3件、東郷地域6件の申請があり、重度障害者のタクシー利用料金助成を行うことができた。今後も継続して周知啓発に取り組む。
	中山間地域買物支援事業 中山間地の買物支援事業者に対し、支援を行なう。	B	B	実績：1件 ※全町申請件数：1件	実績：1件 ※全町申請件数：1件（東郷、泊地域での移動販売）	東郷、泊地域で移動販売を行っている事業者に対し、支援を行った。今後も買い物困難地域における買い物環境の改善を図るとともに住民が中山間地域で安心して暮らすための環境づくりを推進していきあひ。
	社会福祉協議会への運営支援	B	B	社会福祉協議会への支援を行なう。 事業費：15,052千円 ※全町分	社会福祉協議会への支援を行なう。 事業費：20,256千円 ※全町分	地域福祉に係る人件費等について補助することにより、地域福祉の推進に資することができた。

8. 医療の確保

(1) 医療

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3（泊地域のみ）	R4	
7. 医療の確保	(4) その他	各種がん検診 対象者の50%受診（目標値）	C	C	<p>がん検診実施回数（集団検診 37回、個別医療機関検診 6月～R4.2月末の期間実施）</p> <p>胃がん検診 実績：226件/泊地域対象者1,727名（13.1%）※全町受診者数 1,559件</p> <p>肺がん検診 実績：276件/泊地域対象者1,727名（16.0%）※全町受診者数 1,992件</p> <p>大腸がん検診 実績：315件/泊地域対象者1,727名（18.2%）※全町受診者数 1,990件</p> <p>子宮がん検診 実績：159件/泊地域対象者1,111名（14.3%）※全町受診者数 1,071件</p> <p>乳がん検診 実績：80件/泊地域対象者837名（9.6%）※全町受診者数 644件</p>	<p>がん検診実施回数（集団検診 33回、個別医療機関検診 6月～R5.2月末の期間実施）</p> <p>【胃がん検診】</p> <p>泊地域 実績：218件/対象者 1,614名（13.5%）</p> <p>東郷地域 実績：641件/対象者 3,737名（17.2%）※全町受診者数 1,564件</p> <p>【肺がん検診】</p> <p>泊地域 実績：296件/対象者 1,614名（18.3%）</p> <p>東郷地域 実績：817件/対象者 3,737名（21.9%）※全町受診者数 1,976件</p> <p>【大腸がん検診】</p> <p>泊地域 実績：311件/対象者 1,614名（19.3%）</p> <p>東郷地域 実績：749件/対象者 3,737名（20.0%）※全町受診者数 1,946件</p> <p>【子宮がん検診】</p> <p>泊地域 実績：159件/対象者 1,030名（15.4%）</p> <p>東郷地域 実績：363件/対象者 2,372名（15.3%）※全町受診者数 1,058件</p> <p>【乳がん検診】</p> <p>泊地域 実績：110件/対象者 873名（12.6%）</p> <p>東郷地域 実績：216件/対象者 1,975名（10.9%）※全町受診者数 627件</p>	<p>集団健診でのがん検診の回数は33回。コロナ禍において受診者数は減少したが、徐々に回復傾向。3地域の会場設定、肺がん・大腸がん検診の町内巡回検診を実施し、受診しやすい環境を整えている。また、休日健診を2回開催したが、来場者の傾向として、家族での受診・平日開催よりやや若い年齢層「壮年期」の受診者が多いことより、R5年度は休日健診を3回実施し、より健診を受けやすい体制を整え、目標に達成に向けて取り組んでいく。</p> <p>音声告知や個別通知での受診勧奨等を行い、各がん毎では昨年数を上回るものもあったが、5大がん受診者総数（全地域）が令和3年度受診者数より若干少なかったため、評価を「C」とした。コロナ禍の受診者減少から回復傾向であるため、今後も計画どおり取り組みを進めていく。</p>

		特定健康診査・特定保健指導 対象者の60%受診(目標値) 対象者の60%指導(目標値)	C	C	特定健康診査(泊地域) 161名/泊地域対象者 471名 受診率34.2% 特定保健指導(泊地域) 8名/泊地域対象者 15名 受診率53.3%	特定健康診査(泊地域) 149名/泊地域対象者 396名 受診率37.6% (東郷地域) 354名/東郷地域対象者926名 受診率38.2% 特定保健指導(泊地域) 6名/泊地域対象者 18名 受診率33.3% (東郷地域) 10名/東郷地域対象者 36名 受診率27.8%	令和4年6月から令和5年2月末までの期間中、集団健診や個別医療機関での健診による特定健康診査を実施するとともに、未受診者への受診勧奨を年2回行ったが、受診率は泊地域では令和3年度より微増したものの、泊地域37.6%、東郷地域38.2%と令和7年度の目標値60%には程遠い状況である。 今後も、受診状況を分析し、結果を検証しながら、受診勧奨を続けていくことが必要である。 国が求める市町村国保における特定健康診査・特定保健指導の目標値がそれぞれ60%であり、それを目標値として定めているため、事業自体は計画どおりに進めており、特定健診については、受診勧奨等も行っているが、目標値に届かないため、評価を「C」としている。今後も国の定めた目標達成に向け、事業を計画的に進めていくが、目標までは大きな隔りがあるため、新たな取り組みを検討していく必要がある。
--	--	---	---	---	---	--	--

(2) 保健予防活動

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
7. 医療の 確保	(4) その他	予防接種事業 [予防接種法等に定められた予防接種の実施] 乳幼児インフルエンザ、おたふくかぜ、予防接種の一部助成	B	B	乳幼児インフルエンザ R3実績:110件(事業費:165千円) ※全町申請件数:995件 おたふくかぜ R3実績:8件(事業費:21千円) ※全町申請件数:121件 予防接種 R3実績:319件(事業費:3,364千円) ※全町申請件数:3,205件	乳幼児インフルエンザ R4実績:泊85件(事業費:128千円) 東郷192件(事業費:288千円) ※全町申請件数:875件 おたふくかぜ R4実績:泊9件(事業費:23千円) 東郷32件(事業費:76千円) ※全町申請件数:131件 予防接種 R4実績:泊334件(事業費:3,509千円) 東郷:824件(事業費:8,550千円) ※全町申請件数:3,563件	定期予防接種の公費負担、任意予防接種の一部助成により乳幼児の感染症予防、重症化予防に努めることができた。また定期的な医療機関の受診にもつながっている。
		インフルエンザ予防接種助成事業 高齢者等への接種一部助成	B	B	実績:617件(事業費:1,148千円) ※全町申請件数:3,487件	【泊】実績:574件(事業費:1,068千円) 【東郷】実績:1,280件(事業費:2,381千円) ※全町申請件数:3,356件	例年接種率60%代を推移している。R4年度は、予算上は70%の対象者への接種予定に対し、約61.3%の対象者に予防接種を実施し、インフルエンザのまん延を防止した。
		肺炎球菌予防接種助成事業 65歳から100歳まで(5歳刻み、60歳から64歳の特定障がい者含む)の予防接種費用を一部助成	C	C	実績:45件(事業費:221千円) ※全町申請件数:213件	【泊】実績:28件(事業費:137千円) 【東郷】実績:65件(事業費:319千円) ※全町申請件数:189件	H26年度に定期予防接種化し、R5年度末までは対象年齢が拡大されている。公費での接種は生涯1人1回限りと規定されており、R4年度は、予算上対象者の40%への接種予定に対し、接種率は26.4%に留まった。引き続き対象者に接種券を送付し、広報等で周知する。 接種券の個別送付や広報など、計画どおりに事業を進めているが、予算上40%の見込接種率に対し実績26.4%となり。前年度の接種率も下回っているため評価「C」とした。今後も引き続き計画どおりに事業を進め積極的に周知を行っていく。
		子宮頸がん予防ワクチン接種事業 中学1年生～高校1年生の女子を対象	B	B	実績:0件(事業費:0円) ※全町申請件数:11件	【泊】実績:19件(事業費:777千円) 【東郷】実績:37件(事業費:1,589千円) ワクチンは1人3回接種が必要のため、R4年度内の延べ接種回数で事業費を算出 ※全町申請件数:120件	接種後の重篤な症状等の調査によりH25～R3年度まで積極勧奨が控えられ、接種者がいない年もあったが、R4年度から積極勧奨を再開し、接種券やリーフレットを個別送付し情報提供したことで、接種率が向上した(R4全町接種率15.1%)接種完了には約6か月を要し、接種途中での転出や中断などもあり、接種率20%を見込んでいたが約15%の実績となった。R5年度から公費対象になる9価ワクチンについての情報提供も強化し、子宮頸がん発症予防に努める。
		風しんワクチン接種費助成事業 妊婦及びその夫や同居者などの接種費用を一部助成	B	C	実績:1件(事業費:7千円) ※全町申請件数:12件	【泊】実績:1件(事業費:8千円) 【東郷】実績:0件(事業費:0円) ※全町申請件数:13件	県内でも全国的にも風しんが流行しておらず、申請件数は十数件程度を推移している。流行前に予防することが重要であり、風しんの流行状況にかかわらず、引き続き関係課と連携して周知に努める。 当初予算の助成見込数23件に対し、実績が半数程度の12件だったため評価「C」とした。今後も引き続き計画どおり事業を進め、積極的に周知を行っていく。
		不妊治療費助成事業 不妊治療のうち体外受精、顕微授精及び人工授精に要する経費の一部を助成 不育症治療に要する経費の一部を助成	B	B	実績:0件 ※全町申請件数:延べ21人、55回	実績:泊0件、東郷 実7人、延べ10回 事業費:781千円 ※全町申請件数:実21人、延べ30回	特定不妊治療助成事業、人工授精費助成事業を実施し、不妊治療に必要な費用の一部助成を行った。R4年度から県・町ともに助成制度が変わったため、妊娠を望む夫婦の選択肢として、不妊治療が広く認知されるよう、周知していく必要がある。

		健康づくり事業 心と体の健康相談 月に1回実施 健康教室 集落の要望に応じて出張開催	B	C	健康相談日は役場本庁舎で実施。健康教室は、泊地域で2回実施した。	■健康相談（結果説明会含む） 合計84回実施。参加者677人 ■健康教室 泊地区：1回 東郷地区：3回	健康相談は、歯科相談・結果説明会の参加人数が前年より減少。月1回の健康相談日は、R4年度はテーマを決めて実施、事業等で周知を行い、参加者数は前年より大幅に増加した。また、毎回参加される方も増加した。健診受診者に結果説明会にも参加してもらえるよう声掛けを行うほか、参加されない場合にも健診結果を説明する機会を設けて健康状態を知ってもらうよう努める。 健康教室については、実施地区が固定化している。特に未実施の地区へ声掛けを行い、事業の周知を行う。 評価Cの理由は、地区健康教室の実施地区が固定化しているため。令和5年度は、新たに実施する地区から申し込みがあり実施を計画。今後も呼びかけを行う。
--	--	--	---	---	----------------------------------	---	---

9. 教育の振興

(1) 学校教育

持続的発展 施策 区分	事業名（施設名）	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3（泊地域のみ）	R4	
8. 教育の振興	(1) 学校教育 関連施設 校舎 屋内運動場	泊小学校及び東郷小学校の省エネLED化工事 一式 蛍光灯からLED灯への取替工事	C	C	実績 なし 事業費：0千円	実績 なし 事業費：0千円	LED化未実施のため「C」評価とした。 蛍光灯のLED化については、施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		泊小学校及び東郷小学校の空調機更新工事一式 冷暖房設備の更新工事		B		実績 東郷小学校の校長室、職員室、休憩室、会議室、教育相談室、保健室の空調機更新 事業費：22,770千円	更新時期を迎える空調機について、年次計画どおりに更新を行った。今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		東郷小学校の地盤改良事業 地盤沈下改修のための調査設計及び改修工事		B		実績 調査設計業務の実施 事業費：3,737千円	改修に向けて調査設計業務を実施した。今後、地盤沈下により不陸が生じている犬走前の改修、破損している堅樋及び雨水樋の改修等を行う。
	屋外運動場	学校施設・設備の改修・更新 老朽化等による泊小学校及び東郷小学校の施設・設備の改修・更新	B	B	実績 教室吊戸の改修等 事業費：1,488千円	実績 泊小学校：二平行滑り台の更新、教室吊戸の改修等・東郷小学校：男子トイレの改修等 事業費：2,420千円	更新が必要な泊小学校の二平行滑り台の更新、東郷小学校の男子トイレ改修を行うなど、適宜対応した。今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		泊小学校環境整備 イノシシ用侵入防止柵の改修等	B	B	実績 なし 事業費：0千円	実績 侵入防止柵の安全対策工事 事業費：484千円	令和2年度に整備したイノシシ用の侵入防止柵の上部に安全対策を講じ、校地内における鳥獣被害を防止するとともに安全安心な学校環境を提供した。
	給食施設	老朽化等による泊小学校及び東郷小学校の施設・整備の改修・更新		B		実績 泊給食調理場の食器洗浄機修繕 事業費：184千円	修繕が必要な食器洗浄機の修繕を行った。今後も施設全体で優先すべき事項（設備等の更新・改修）を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		泊小学校厨房機器等 一式 経年劣化による厨房機器等の更新	B	B	実績 なし 事業費：0千円	実績 プラستチラー購入 事業費：1,923千円	プラستチラーを購入し、安心安全な給食を提供できる環境を整えた。厨房機器等の更新については、優先すべき事項を考慮しながら年次的に取り組んでいく。
		安全安心な給食を提供するための厨房機器等の整備 東郷小学校給食配送車 1台 老朽化による配送車の更新		C		実績 なし 事業費：0千円	令和6年度に更新を予定しており、令和4年度は事業未実施のため「C」評価とした。 東郷小学校給食配送車は、平成18年4月4日の登録から17年が経過し、老朽化している。このことから、令和6年度に更新を計画し、東郷小学校への給食配送に支障をきたさないように取り組んでいく。
	(4) 過疎地域 持続的発展 特別事業 義務教育	泊小学校及び東郷小学校芝管理事業 芝刈込、施肥、除草剤散布、散水等 泊小学校 9,825㎡ 東郷小学校なかよし広場東側及び中庭 928㎡	B	B	実績 芝の管理 事業費：2,872千円	実績 芝管理 事業費：3,313千円	良質な教育環境を維持するため、適切な芝管理を行った。今後も良質な教育環境を維持するために継続していく。

	ふるさと教育推進事業 郷土の良さを体験するための 学習及び活動の推進 文化伝承・スポーツ・食育・水産教室等	B	B	実績 学習活動：水産教室、泊貝がら飾体験、グ ラウンド・ゴルフ体験等 事業費：86千円 【東郷小】ドラゴンカヌー体験、梨の袋かけ 体験等 事業費：47千円	実績 学習活動 【泊小】水産教室、泊貝がら飾体験、グラウ ンド・ゴルフ体験、梨の袋かけ等 事業費：86千円 【東郷小】ドラゴンカヌー体験、梨の袋かけ 体験等 事業費：47千円	ふるさとに愛着を持つ児童生徒育成のための各種学習・体験活動を行った。今後 もふるさとに愛着を持つ児童生徒を育成するために事業を継続していく。
	遠距離通学児童通学費補助 原及び宇谷地区から泊小学校まで通学する児童が通学のために利用する一般乗 合旅客自動車の定期券購入費を補助 東郷地域の羽衣石地区から東郷小学校まで通学する児童に係る保護者の車両運 行費を補助	B	B	実績 通学児童数：24人 事業費：639千円	実績 通学児童数：32人（泊小：31人、東郷 小1人） 事業費：639千円	原及び宇谷地区から泊小学校まで通学する全児童のバス定期券購入費及び東郷地 域の羽衣石地区から東郷小学校まで通学する児童に係る保護者の車両運行費を補 助した。今後も対象地区児童の通学のために本事業を継続していく。
	特定地域選択制事業 羽合小校区から泊小に通学するためのマイクロバス等の運行	B	B	実績 通学児童数：12人 事業費：2,570千円	実績 通学児童数：16人 事業費：2,095千円	羽合小学校校区から泊小学校に通学する児童の登下校のためのマイクロバスを運 行した。今後も本事業を継続していく。 ※令和4年4月1日児童数：112人（前年比8人増） 令和4年度特定地域選択制利用児童数：16人（前年比4人増） ※過疎債：2,000千円
	I C T 機器等更新（泊小学校・東郷中学校・湯梨浜中学校） 教育用・校務用・事務用の I C T 機器の更新	B	B	実績 液晶ディスプレイ（泊小学校：2台）、 appleTV（泊小学校：2台・湯梨浜中学校：3 台）、校務用パソコン（泊小学校：2台）等の整 備 事業費：956千円	実績 液晶ディスプレイ・AppleTV（泊小学 校・東郷小学校：各2台）、校務用パソコン （東郷小学校：4台）等の整備 事業費：2,427千円	泊小学校及び東郷小学校の液晶ディスプレイ・アップルTVを整備した。また、更 新时期を迎えた東郷小学校の校務用パソコンを整備した。今後も計画的にICT機 器等の更新を行っていく。
	スクールバス運行委託事業 泊・東郷地域から湯梨浜中学校に通学する生徒用スクールバス2台の運行 東郷地域（舎人及び花見地）から東郷小学校に通学する児童用スクールバス3 台の運行	B	B	実績 大型バス2台運行 事業費：23,982千円	実績 大型バス5台運行 事業費：50,908千円	泊及び東郷地域から湯梨浜中学校に通学する生徒の登下校のためのスクールバス を2台するとともに、東郷地域（舎人及び花見地）から東郷小学校に通学する児 童用スクールバス3台運行した。今後も対象地区児童生徒の通学のために本事業 を継続していく。
	フリースクール等利用料助成事業 不登校児童生徒が通うフリースクール等の利用料、交通費及び実習費等の助成	B	B	実績：1件 事業費：268千円 ※全町申請件数：1件	実績：1件 事業費：276千円 ※全町申請件数：3件	義務教育段階にある児童生徒の学びや成長を保障するため、不登校児童生徒が通 うフリースクール等の利用料、交通費及び実習費を助成した。今後も不登校児童 生徒の学びや成長を保障するため、本事業を継続していく。
高等学校	通学費助成事業 高校生等の通学に要する定期乗車券の購入費一部助成	B	B	実績：7件 事業費：491千円 ※全町申請件数：83件	実績 34件 事業費：1,460千円 ※全町申請件数：101件	泊及び東郷地域の子育て家庭における経済的負担を軽減するため、公共交通機関 を利用して通学する高校生等の定期乗車券の購入に要する経費を助成した。今後 も子育て家庭における経済的負担を軽減するため、本事業を継続していく。 ※過疎債：500千円

(2) 社会教育

持続的発展 施策 区分	事業名(施 設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
8. 教育の 振興	(3) 公民館、 集会施設、 体育施設等	中央公民館整備事業 照明器具改修（LED化）	B	B	施設の改築工事を行った。事業費 675,385千円	中央公民館のホール及び第2研修室の照明をL ED照明に取替を行った。 事業費3,058千円	計画どおり中央公民館のホール及び第2研修室の照明をL E D照明に取り換えた ことにより、利用者が快適に館を利用することができた。今後も利用者が安心・ 安全に利用でき、町民の集う場となるよう取り組んでまいります。
		泊体育館施設整備事業 耐震補強改修の設計・工事・監理	B	B	耐震補強整備工事の設計を行った。事業費 5,063千円	他の事業との調整によりR5年度に実施するこ ととした。	R5予算計上 工事監理 2,944千円 耐震工事 50,325千円
		東郷体育館駐車場整備事業 東郷体育館の駐車場整備		C			解体工事との調整により工事期間を延長し た。（繰越）
	図書館	図書館施設整備事業 照明器具改修（LED化）		B		照明器具改修（LED）を行った。 事業費 715千円	利用者に安心・安全な施設を提供することができた。 今後、閲覧ホールの照明改修を行う
		しおさいプラザとまり施設整備事業 照明器具改修（LED化）	B	B	空調設備改修工事を行った。事業費 748千円	照明器具改修（LED）を行った。 事業費 3,630千円	利用者に安心・安全な施設を提供することができた。
	公園施設	東郷運動公園施設整備事業 施設整備計画の策定 施設改修の設計・工事・監理		B		長寿命化計画の策定を行った。 事業費8,470千円	長寿命化計画に基づき、施設の改修・修繕を進めていく。
		東郷運動公園指定管理事業 (施設指定管理)		B		指定管理 事業費 12,300千円	適切な施設管理ができた。H30～R4の5年間の契約 次期はR5年から5年間の契約

(4) 過疎地域 持続的発展 特別事業 生涯学習・ スポーツ	生涯学習促進事業 各種講座や教室等、生涯学習活動の推進	B	B	実績：成人教育教室等の開催 18回。事業費 174千円	中央公民館 成人教育等教室の開催 33回 事業費 300千円 泊分館 成人教育等教室の開催 事業費 245千円	新型コロナの感染拡大により中止となった事業もあったが、成人教育、家庭青少年教育、体育・レク、出前講座など感染対策を取りながら概ね実施することができた。引き続き社会教育の拠点施設として、町民に対する学びの場を提供する。
	みんなの健康づくり事業 幅広い年代の健康づくりを支援するための体制づくりと運動教室の開催	B	B	実績：運動機器の導入 事業費 9,330千円	運動器具を整備したトレーニングルームに年間4,231人の利用があった。運動器具を使う教室、ストレッチ教室及び健康講座を計123回開催し延べ593人の参加があった。	トレーニングルームの利用については、当初の見込みよりも多くの利用があった。次年度以降利用者の増や新規の利用者の獲得を行う。教室については、定員に満たなかったものがあり、内容や開催する時間帯の検討を行い、充実した教室の開催を目指す。

10. 集落の整備

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
9. 集落の 整備	(2) 過疎地域 持続的発展 特別事業 集落整備	集落づくり総合交付金【再掲】					住民間の交流や助け合いを推進し、地域共生社会の実現を進めるため、地域づくりや防犯環境の整備を支援した。新型コロナウイルスの影響により、活動を中止する事業もあった。今後も活動の支援を推進する。
		自主防災組織運営交付金 各区の自主防災組織の活動等について補助を行なう。	B	B	実績：9区 事業費(交付額)：405,000円	実績：44区 交付額：1,880,500円 【内訳】 東郷：34区 交付額：1,431,500円 泊：10区 交付額：449,000円	自主防災組織の訓練等運営を支援し、集落づくり・自主防災力の向上等を推進した。
		防犯灯維持管理交付金 各区が設置している防犯灯について、維持管理の支援を行なう。	B	B	実績：13区 事業費(交付額)：367,200円	実績：51区 交付額：1,504,800円 【内訳】 東郷：38区 交付額：1,137,600円 泊：10区 交付額：367,200円	地域で設置している防犯灯の維持管理を支援し、地域の防犯等安全環境の維持に取り組んだ。
		防犯灯設置等交付金 各区の管理防犯灯について、更新の際のLED化を支援する、	B	B	実績：6区 事業費(交付額)：269,508円	実績：24区 交付額：923,792円 【内訳】 東郷：18区 交付額：727,846円 泊：6区 交付額：195,946円	地域で設置している防犯等について、脱炭素等推進のためのLED化について支援を行なった。
		集落活性化事業交付金 各区で実施する地域の活動、運営経費の支援を行なう。	B	B	実績：12区 事業費(交付額)：403,238円	実績：46区 交付額：1,653,017円 【内訳】 東郷：32区 交付額：1,136,609円 泊：12区 交付額：516,408円	前年度から継続して、新型コロナの影響で事業規模の縮小又は、断念を余儀なくされた区も生じていた中、コロナ禍における地域活動での注意点を記載した資料を各区へ送付。各区における地域活動実施のための支援を行った。
		地域にぎわい創出事業 地域が実施する運動会、祭りなどの経費補助	B	B	実績：1地域 事業費(交付額)：247,127円	実績：5地域 交付額：770,231円 【内訳】 東郷：4地域 交付額：327,231円 泊：1地域 交付額：443,000円	地域が実施する運動会、祭りなどの経費を補助した。新型コロナウイルスの影響により、事業規模縮小となった。
		舎人地区多目的集会施設多目的ホールLED照明改修事業 照明器具改修(LED化)		B		多目的ホール照明器具(非常灯含む)の改修工事を行った。 事業費 2,167千円	多目的ホールの水銀灯(球切れ有り)をLED照明に取替えし、脱炭素等推進が図れた。また、利用者に安心・安全な施設提供ができた。
		空き家住宅改修事業 空き家バンク登録物件の所有者で、移住定住者を受け入れるための改修費用を補助	B	C	実績：0件 ※全町申請件数：0件	実績：0件 ※全町申請件数：0件	近年の空き家登録バンク登録物件は、改修等費用を借主が負担する物件が増えている。新制度を設けて空き家活用と移住促進を進める計画である。
		空き家利活用流通促進事業 空き家を所有、賃貸、購入する町内在住者(町内移住予定者を含む)に対し改修工事等に必要な経費を補助	B	B	実績：0件 ※全町申請件数：0件	実績：1件 ※全町申請件数：1件	空き家を所有、賃貸、購入する町内在住者(町内移住予定者を含む)に対し改修工事等に必要な経費を補助、定住を促進するとともに、地域を支える人材の呼び込みを図ることができた。
		空き家対策支援事業	B	B	老朽危険空き家等の除却を支援した 実績：4件	老朽危険空き家等の除却を支援した 実績：2件	老朽化した空き家に対して指導を行い、2件の空き家に対してその解体を支援した。 (R3) 全体：11件 羽合：4件 東郷：3件 泊：4件 (R4) 全体：6件 羽合：4件 東郷：0件 泊：2件
(3) その他	地域活性化活動事業 地域活性化のための地域おこし協力隊活動(再掲) 地域活性化のためのNPO法人活動支援	B	C	みらい創造室：空き家担当2名(継続1名、新規1名)、イベント・情報発信担当2名(継続2名)	みらい創造室：空き家担当3名、イベント・情報発信担当1名	4人のうち3人については、R4新規で業務に不慣れな部分があったことから、進捗が芳しくない面もあった。今後空き家の掘り起こしについては、区長や所有者の聞き取りなど調査を進めている。多世代交流センター、総合相談センターについては、指定管理者とより緊密に連携し、利用促進を図る。	

	<p>小さな拠点施設整備事業 泊地域の住民生活を支える買い物及び交流拠点の整備工事 泊支所の耐震整備及び改修工事 (耐震補強設計、監理業務及び改修設計業務)</p>	C	-		-	現状では、整備工事施設までの建設は行わない方針。
	<p>まちづくり創造事業 まちづくりを推進する団体の活動費を助成</p>	/	B	<p>【実績】 ・創造事業：1団体 交付額：86,884円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円</p>	<p>【実績】 ・創造事業：1団体 交付額：99,718円 ・ステップ事業：1団体 交付額：100,000円</p>	創造事業、ステップ事業とも1団体ずつ活動があり助成を行った。今年度は、新規1団体の参加があったため、来年度以降も制度を周知し新規団体を増やしたい。
	<p>ボランティア団体活動助成事業 ボランティア団体の活動費を助成</p>	/	B	/	<p>実績：10団体 交付額：305,304円 【内訳】 東郷：6団体 交付額：270,218円 泊：4団体 交付額：80,086円</p>	ボランティア団体の活動に対する補助を実施したが、新型コロナウイルスの影響もあり、ほとんどの団体が交付決定額に比べ実績額が大幅に減となった。(△35%)
	<p>地域づくり推進事業 地域の新たな担い手育成、地域課題の解決等のためのセミナー等の開催や支援活動等の実施</p>	/	C	/	具体的な事業実績なし(事業検討のみ)	各区の抱える課題解決のための事業を検討。R5より各区が町へ行う申請書の作成支援及び各区長宅へ職員が出向き各区の状況や課題を確認する事業を実施する。

1 1. 地域文化の振興等

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
1 0. 地域文化の振興等	(1)地域文化振興施設等 地域文化振興施設	泊歴史民俗資料館環境整備工事 資料館の改修及び周辺環境整備収蔵庫整備	B	B	R3入館者実績：26人 資料館の管理運営を実施	R4入館者実績：26人 資料館の管理運営を実施	引き続き維持管理を行っていく。
		湯梨浜町さくら工芸品工房整備事業 老朽化等による施設・整備の改修・更新	/	C	/	令和4年度の実績なし	照明のLED化を計画しているが、実施は令和6年度以降を想定している。
	(3)その他	町内遺跡発掘調査事業 町内遺跡の発掘調査等	/	B	/	羽衣石城跡発掘調査6月～1月 遺構分布調査 3回 学術調査委員会 3回	引き続き調査・検証を進め、総合調査報告書の作成を行う。

1 2. 再生可能エネルギーの利用の推進

持続的発展 施策 区分	事業名(施設名)	事業内容	R3評価	R4評価	実績		評価の理由及び対策・今後の取組
					R3(泊地域のみ)	R4	
1 1. 再生可能エネルギーの利用促進	(2)過疎地域持続的発展特別事業 再生可能エネルギー利用	太陽光発電システム等設置事業	B	B	家庭等で太陽光発電システム等の設置した者に設置費用の一部を助成した 実績：1件(事業費：184千円) ※全町申請件数：14件	家庭等で太陽光発電システム等の設置した者に設置費用の一部を助成した 実績：2件(事業費：536千円) ※全町申請件数：15件	再生可能エネルギーの推進のため、太陽光発電システム及び蓄電池の設置に対して補助を行った。補助については、主に新築世帯の補助が多い傾向にあるので、他制度を利用した新築時における、制度紹介等の広報を実施していく。